

Hochschule Bremen



Guidebook

明治大学商学部

目次

はじめに	p 4
Bremen (ブレーメン)	p 5
Hochschule Bremen (ブレーメン州立経済工科大学)	p 8
AWS Japanisch (応用経済言語国際経営学科経済言語専攻ビジネス日本語学習学科)	p 9
Tandem (タンデム)	p 10
サマースクール	p 11
Bremen のおすすめのお店	p 12
Bremen で開かれるイベント	p 16
Hochschule Bremen の教員・学生からのメッセージ	p 19
明治大学商学部の先輩方からのメッセージ	
-山崎織江さん	p 24
-長嶺佑美さん	p 25
-山田貴大さん	p 26
-岩田有未さん	p 26
最後に	
-大場貴之	p 27
-勇幸太	p 28
-小賀野翼	p 29

はじめに

現在国際化も急速に進み、社会においては国際的な視野を持ち、理解し、行動できる人材が求められています。特に商学部はそのような背景を受け、明治大学の中でも独自の国際交流を図っています。

在学生在異国の地で勉学に励むことは、外国語のコミュニケーション能力の向上はもちろん、異文化への理解や感受性を養い、留学先の国だけでなく、改めて「日本」を理解することになるのです。

2006年度から、明治大学商学部と国際協定を結んでいる大学の一つ、ブレーメン州立経済工科大学（以下 HSB）。2007年度に初めて商学部生が留学し、それ以降活発な交換留学が行われています。2010年度現在に至るまで、明治大学から派遣された学生は、計8名。HSB から派遣された学生は、計16名。今後更に人数は増えていくでしょう。

この冊子は、そんな「未来の学生」たちに向けて作成されたものです。実際に留学しようか悩んでいる人はもちろん、まったく留学に興味がない人のためのものでもあります。

今回この冊子では、留学先のブレーメンの街はもちろん、HSB、HSB 経済学部にある日本語学科などの情報を載せています。また、実際にブレーメンに来た場合に役に立つ情報や、HSB の教員や学生からのメッセージ、そしてみなさんの先輩である、HSB に留学された方々からのメッセージも掲載しています。

留学は一見華やかに見えますが、自分の中にちゃんとした目的意識を確立し、地道な学習計画をもとに動かななくては、思い描いているような結果を得ることはできません。もちろん、語学力や体力、強い精神力も必要になります。

この冊子を読み、あなたの中に何か引っかかる部分があり、それをちゃんと深く掘り起こしていけば、それがあなたの立派な「留学目的」になるかもしれません。そして自分の中に「目的」があれば、留学前や留学中はもちろん、留学後においても、どんな困難も乗り越えられることでしょう。

今回私たちはこの冊子と合わせ、他にもブレーメンでの留学を簡単に紹介した記事や、留学を意識し始めたときから留学を終えるまでの、一連の流れを説明したマニュアルを作成しました。それらがみなさんの助けとなれば、幸いです。

明治大学商学部生 大場貴之・勇幸太・小賀野翼

2010年10月

Bremen

ブレーメンの音楽隊



みなさん、ブレーメンと聞くと何を思い浮かべますか？
やはり、グリム童話で有名な「ブレーメンの音楽隊」
でしょうか？メルヘン街道の終着地でもあり、かつて
音楽隊が憧れた街、ブレーメン。
いったいその魅力は何なのでしょう？

ロバの前足に触ってお願いごとをすると、
叶うと信じられている！



マルクト広場にあるマンホール。
お金を入れるとなんと音楽隊の声
が聞こえてくる！（10セント）

ドイツ北部に位置するブレーメンは、古くからハンザ同盟の交易都市として栄え、
現在も港町らしい活気にあふれています。明治大学商学部と2006年から国際交
流協定を結んでいる HSB は、そんな街中に存在しています。ブレーメンのシンボル
といえば、市庁舎とローラント像が挙げられるでしょう。

市庁舎



ローラント像



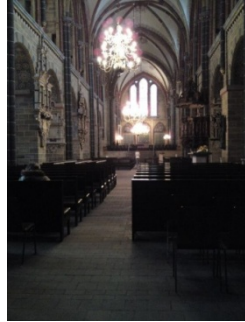
これらはマルクト広場にあり、ユネスコ世界遺産に登録されています。特に、高さ
10メートルのローラント像は、ハンザ自由都市としての権利と平和を保障する盾
を掲げており、このローラント像が立つ限り、街の自由は続くと言われています。

また、同じマルクト広場には、聖ペトリ大聖堂もあります。

聖ペトリ大聖堂



2つの尖塔が高くそびえるゴシック様式の大聖堂で、1200年以上の歴史を持っています。内部には、中世の文化財や彫刻を収めた博物館もあり、この塔を登ると、市街を一望することもできるのです。



まだまだブレーメンには沢山の魅力があります！1つはヴェーザー川。ハーメルンの笛吹き男で知られるハーメルンを経て、ブレーメンに流れており、HSBのキャンパスは、川のすぐそばに位置しています。

夕日が沈む瞬間



大学からの光景



他にもブレーメン市内で有名な場所といえば、シュノーア地区！

シュノーア



市街地の南東に広がる、石畳の入り組んだ細い路地裏にある、市内で最もおしゃれな一角。中世に舞い戻ったかのような路地はいつも観光客で賑わっています。旧市街では珍しく戦災を免れた地区でもあるので、足を運んでみてください。



ブレーメン市内でも有名な通りといえば、ベットヒャー通りとゼーゲ通り！

ベットヒャー通り



コーヒー貿易で財を成した商人、ルードヴィヒ・ロゼリウスが、1902年～34年に私財を投じて作った通り。わずか100メートルほどの短い通りですが、伝統的な建物とアールヌーボの影響が調和した美しい場所であり、日々多くの観光客が訪れています。写真は、マルクト広場側の入り口にある、金のリリーフ。

旧市街の入口でもある、豚飼いの像が目印の通り。なんでも昔、この通りは、豚飼いが多く住んでいたらしく、入口の像は当時を再現しているそうです。

現在ではショッピング通りとなり、休日には多くの若者であふれかえっています。

ゼーゲ通り



そして最後に忘れてはいけないのが、Werder Bremen。そう、サッカーです！

Domshof の光景



ブンデスリーガの強豪クラブの1つで、4回ほど優勝経験もあるチームです。

地元チームということもあり、試合があるときは、多くのファンがスタジアムに集まり、ビールを飲み、全員一丸となって応援しています。

もちろんワールドカップ開催時には、街の一角に大きなスクリーンが設置され、日本以上の盛り上がりを目にすることができるでしょう！

ヴェーザースタジアム



ヨーロッパの商業の中心地で経済を学ぶ Hochschule Bremen



ブレーメンはドイツの 16 州の中で最も小さい州で、人口は 68 万人。そのハンザ都市ブレーメン市内中心部に位置する HSB は、決して規模が大きいとは言えません。しかし、世界各国（70 カ国以上）に 325 校もの協定を持ち、積極的に国際的な交流を行っています。その HSB は、1799 年まで歴史を遡ることができるほど、伝統的な学校でもあります。

また、HSB には校名から連想される経済系の学部だけではなく、工学、環境科学、建築、自然や航海術といったような学部まで設置されており、非常に幅広いのが特徴でもあります。さらに、私達留学生の特権は、一部の授業を除き、ほとんどの授業を無料で受講できるということです。中には英語で行われている授業もあるため、自分の興味がある授業を、他学部であろうと積極的に受講すれば、より一層楽しくなることは間違いありません。

入口にあるポセイドンの像



学生がいつも集まる学食！

昼時はもちろん、タンDEMなどでも沢山の人が集まっています。



日本の経済と文化を学ぶ AWS Japanisch

私達が所属することになる学部は、Angewandte Wirtschaftssprachen und Internationale Unternehmensführung(AWS)という学部です。このAWSという学部は、日本語・中国語・アラビア語の3つの学科から成り立っています。AWS-Japanischを日本語に訳すと、応用経済言語国際経営学科経済言語専攻ビジネス日本語学習学科と、もの凄く長くなります。AWS-Japanischには当然日本語を学んでいる人がいるため、互いの言語を教え合うタンデムが可能です。(タンデムについては、P10を参照)

また大学内に、Japan Forum Bremen (<http://www.japanforumbremen.de>) という組織が存在し、学生主体で日本の経済を学んだり映画を見たり、日本文化に触れたりなど、積極的に活動が行われています。毎年11月にはInternational Office主催のInternational Daysというものも行われ、日本の文化をみんなに知ってもらうため、日本人留学生とAWSの学生が一緒になって料理を作るなどといった催しも開かれています。



ドイツ語はもちろん、文化など色々学べるチャンス

Tandem

タンデムは主に2人1組でお互いの言語を教え合うことです！学食でドイツ語のわかりにくい部分を教えてもらったり、宿題をお互いに確認したりしますが、それだけではありません！例えばカフェに行き、お互いについて話しあったり、どこかに遊びに行った先で、ドイツの文化や特徴を覚えてもらったり、お互いの家で料理をしながら生活に密着したドイツ語を学んだりするなど、多種多様なタンデムがあります。HSBには、日本語と日本の経済を勉強している学生がいるので、タンデムパートナーはすぐ見つけることができます！机に向かってばかりの勉強ではなく、実際にドイツ人と一緒に学ぶタンデムは、語学力を伸ばすばかりではなく、ドイツの文化を知る一番の機会です！



日本人が留学して所属する学部は日本語と経済を学ぶ学部であり、そこに日本語を勉強している学生は1つの学年（ドイツではゼメスター）に約20人います。すでに日本に留学済みの7/8ゼメスターの学生は、流暢な日本語を話すことができます。また、大学に入学して間もない1/2ゼメスターの学生は、ほとんど日本語を話せない場合が多いので、自分から積極的にドイツ語を使うことになります。各ゼメスターに1人ずつタンデムパートナーを作り、上級生には難しい文法の質問をする、下級生とは会話の練習をするなどと効率的且つ楽しく語学力を伸ばせるでしょう。



授業とはまったく別に行うタンデム。授業を多く受講し、タンデムを数人と行うか、あるいはまたその逆などの、様々な組み方があります。ある程度自分なりのプランなどを持っているとより良いかもしれません。タンデムパートナーとはお互いの勉強だけでなく、仲良くなれば休日などに一緒にどこかへ行くといったようなこともできます。是非とも勉強以外のことも楽しんでください！



1ヶ月だけでもブレーメン経済工科大学を体験できる サマースクール

2010年度から明治大学の学生も、HSBで夏休みを利用したサマースクールに参加できることになりました。実際にドイツでの生活を学ぶには短いかもしれませんが、ドイツ語の上達はもちろん、実際に留学している日本人と話をしたり、AWSの学生と関わったりできるので、試してみたいはいかがでしょうか？ HP: <http://www.ifk-bremen.de/programme.html>

参加者の声

私はサマースクールの為に独検3級を取得して、いざブレーメンという気持ちで行きましたが、参加者自体のレベルは高いと感じました。授業自体はレベル別に3つのクラスに分けられ、私は一番下のクラスでした。周りの学生も、やはりドイツ語を始めてから1年以上2年未満という人が多く、ドイツ人やスクール参加者のドイツ語は何を言っているのか分かりませんでした。たとえ何を言っているか分かっても、何を言っているのか分かりませんでした。しかし、授業自体は日本で一度やっている内容をドイツ語でやるので、「ドイツ語をドイツでドイツ語のみで勉強する」ということは、私には非常に面白いものでした。また、期間中は、HSBが企画してくれるレクリエーションが（歓迎パーティ、ボーリング、ディスコ、カラオケ、工場見学など…）沢山あります。土日には日帰り旅行（ハンブルグ、オランダ、フォルクスワーゲンの工場など…）もありました。友達を作るもよし。ドイツ語力を高めるもよし。様々な目的を持った人々が集まり、貴重な時間を共有することができました。

私が終えてみて思うことは、やはり語学は「習うより慣れよ」ではないでしょうか。いくら日本で勉強していてもその土地の言葉はその土地に行かねば分かりません。レベル自体が高いと書きましたが、そのことが今後のドイツ語の学習意欲を高めてくれました。やはり日本語が通じない、日本語がない環境で沢山の国籍の人達といる、というのは何事にも変えられない経験となりました。また、国際的な視点というものもこの1カ月で得られました。色々な国の人に「日本ってどう思う？」と聞いてみると、様々な答えが返ってきて興味深く、反対に我々が考えている各国のイメージは本当にステレオタイプだと認識させられました。お金と手間こそかかりましたが、この1カ月で得られたことは、今後の大学生活をさらに面白いものにしてくれそうな予感がしています。この貴重な経験のきっかけを作ってくれた Kowallik 先生、現地でいろいろお世話していただいた商学部留学生の先輩方、本当にありがとうございました。

柴田研三郎



おすすめ

せっかく長期滞在する街！！勉強はもちろん大切ですが、息抜きの際には思いっきり楽しみましょう♪

～ちょっとお茶しませんか♪編～

授業後に一息ついたり、タンデムで利用したり...そんな時に便利なカフェを紹介します。

☆ALEX☆

街の中心にあり且つ学校にも近い！立地的にとっても便利なので本当によく使われるカフェです。メニューも豊富なのでおすすめ☆ブレーメンに3店舗ありますが、最もよく使われるのが、Schüsselkorb という停留所の目の前にある店舗です。天気の良い日には、テラスで座りながら、リラックスしてはいかかでしょうか？

Domshof 16

28195 Bremen

停留所：Schüsselkorb

Straßenbahn 2,4,6 バス 25 など

HP: <http://www.alexgastro.de/>



☆LeBuffet☆

Karstadt デパートの3階（日本でいう4階）にあるカフェ。ブッフェ形式で好きな料理を取り最後に清算。ケーキの種類がとても豊富で、毎日行っても飽きない！料理の質が高い割に料金は安く、セルフサービスなのでチップも必要なし☆これは行くしかないでしょう♪

<盛り盛りサラダとケーキ♪>



Obernstraße 5-33, 28195 Bremen

停留所：Schüsselkorb,Domsheide

HP: <http://www.lebuffet.de/>

～日本ではあまり行かないけど...編～

Disko



日本でクラブと聞くと、一部の人しか行かないイメージがありますが、ドイツでは学生なら誰もが行く場所です。週末の夜を友達と踊り明かす！のもいい思い出になるかもしれません。

☆Modernes☆

キャンパスのある停留所の次の駅から徒歩5分の場所にあるクラブ。天井が開くようになっていて、とてもお洒落なクラブです。イベントもよく開催され、たくさんの学生が集まります。

HP: <http://www.modernes.de/>

停留所： Theater am Leibnizplatz

Straßenbahn 2,4,6

～ブレーメン名物は何？編～

3つご紹介したいものがあります♪ 1つ目はとても有名な Hachez のチョコレート、2つ目は、“Tee-Handels-Kontor Bremen”茶葉のお店、そして最後にブレーメンに古くからあるビールのお店、Schüttinger です。

☆Hachez☆

1890年、ブレーメンでジョセフ・ハッチェスが始めて以来、同じ場所ですべてチョコレートの製造を続けています。値段は少し高めですが、とても美味しいチョコレートなので食べてみる価値あり！です。



趣きのある店舗外観

HP: <http://www.hachez.de/> 停留所： Domsheide; Straßenbahn 4,5,6,8 バス 24,25 など

☆Tee-Handels-Kontor Bremen☆

紅茶専門のお店。ブレーメンに何店舗かありますが、中央駅の中にある店舗が1番見つけやすいと思います。本当にたくさんの種類の紅茶があるので1つを選ぶことが難しいかもしれません。そこでおすすめのお茶を紹介します。“Schietwetter Tee”というお茶です。“Schietwetter”とはブレーメンをはじめとする北ドイツにある方言 Plattdeutsch（低地ドイツ語）で、「ひどいお天気」という意味です。インド紅茶をベースに陳皮、シナモン、カルダモン、ハイビスカス等々沢山のハーブが混ざっていて、お茶を淹れるとまさに Schietwetter!な色になるのですが、味はとても良いです♪お店で試飲もできるので是非試してみてください♪



HP: <https://www.thk-bremen.de/> 停留所：Hauptbahnhof Straßenbahn 1,4,5,6,8,10 など

☆Schüttinger☆



ブレーメンにある美味しいビールのお店。ここでは、実際にお店の中にある樽から、ビールが注がれ、他では飲めない、美味しいビールを味わうことができます！

毎日17時から20時まではハッピーアワーとなり、ビールがなんと、0, 2Lは1ユーロ、0, 4Lは2ユーロで飲むことができます！他にも、ブレーメンならではの料理を食べることもできるので、ぜひ足を運んでみてください

停留所:Domsheide 徒歩1分程度 HP: <http://www.schuettinger.de/>

～日本食が恋しくなったら、どこに行く？編～

ブレーメンには日本食レストランがあります。どのお店も、メインは、「お寿司」ですが、各店により他にもお鍋や惣菜等、様々な日本食が揃っています！

☆Captain 寿司☆ HP: <http://www.captain-sushi.de/>



AWS Japanisch の学生も何人か働いており、留学生とも気軽に話してくれる、優しい日本人スタッフがあなたを待っています！留学ではなく、実際にドイツで「生活している」人たちと話せるので、貴重なお話が聞けるかも♪

お寿司のメニューは、単品の場合 5 種類のお皿に分けられており、その他にも食べ放題もあり。（月、火、木は 3 種類の皿が食べ放題の 22 ユーロ 水は 5 種類の皿が食べ放題の 33 ユーロ）他にもお鍋など、懐かしくなる日本料理を揃えています。

※お鍋を頼む場合は、事前に予約が必要です。

☆スシファクトリー☆ HP: <http://www.sushi-factory.com/>



ハンブルクを中心にフランチャイズ形式で、ブレーメンやハノーファーなどに展開しているお店。こちらもお寿司のメニューは 5 種類の皿に分かれています。日本人スタッフだけでなく、ドイツ人やアジア人も働いています。駅構内にも展開しており、持ち帰って食べることも可能！

☆さくら寿司☆ HP: <http://sakurabremen.com>



食べ放題がお昼は約 12 ユーロ、夜は約 15 ユーロ前後という破格で提供している店。食べ放題の中には、餃子や唐揚げ、焼き鳥、ほうれん草のひたし等、あらゆるものが揃っていて、「ここは本当にお寿司屋さん？」と思うかもしれません！

Bremenならでの イベント

★Osterwiese★

キリスト教徒にとっては大事なキリストの復活祭。その頃に合わせ、3月中旬から4月初旬にかけて、ブレーメン中央駅の裏手に大きな遊園地が出現します！それと共にたくさんの出店が並び、終日たくさんの人でにぎわいます。絶叫マシンに乗ったり、美味しいお菓子を食べたり、ドイツ人の友達を誘って仲良くなる機会にするなど、とても楽しい時間を過ごすことができるはずです！



☆Freimarkt☆

10月中旬から2週間にかけて行われる Freimarkt。約970年以上続く市民のイベントで、ドイツを代表する3大イベントの1つであり、ドイツで最も古いイベントです！Osterwieseのようにたくさんの屋台やジェットコースターなどがあり、ブレーメン市民はもちろん、たくさんの旅行者も訪れ、毎年400万人以上が集まります。あなたも自分の目で見てみませんか？夜の景色は、なんとも言えないほど、綺麗ですよ！



☆Karneval☆

2月初旬に行われるカーニバル。本場ケルンのイベントを前に、ブレーメンで開かれるイベントです。ドイツはもちろん、世界各国のチームが集まり、仮装しながら音楽を奏で、街中を歩きます！ケルンもいいですが、ブレーメンでも見られるこのチャンス、逃す手はありません！



☆Weihnachtsmarkt☆

ドイツと言えば、忘れてはいけないのがクリスマスマーケット！ドイツ国内各地で、11月下旬からクリスマスまでの間、その土地ならではのマーケットが開かれます。

オーナメントのお店から、温かいワインが飲めるお店、美味しい食べ物が食べられるお店など、本当に綺麗で楽しい場所が広がっています。

ブレーメンでは、大きく分けると2ヶ所で開催され、市内中心部には遊園地のような明るさのマーケットと、Schlachte という通り沿いに昔ならではの静けさを保ったマーケットが立ち並びます。



Hochschule Bremenからの Message

ここで、HSBの学生や先生方からのメッセージを紹介したいと思います。



Henning Buchholz

2008年9月～2009年2月、明治大学商学部に留学。

(塩沢ゼミナール所属)

その後、トーマツ・コンサルティング監査法人にて半年間インターンシップを行い、日本の経済や文化などに深い関心を寄せている。将来は、日本で働くことも考えている。

はじめまして、ヘニングです。23歳で、ブレーメン出身のドイツ人です。北ドイツにあるブレーメンという街は知らないかも知れませんが、ブレーメンの音楽隊は聞いたことあるでしょうか？他にも緑色のボトルのBecksビールやKnippという伝統的料理などが有名です。

私は2008年の後期に明治大学に留学して、商学部で国際マーケティングとリスクマネジメントを勉強しながら、塩沢先生のゼミナールに参加していました。和泉校舎で韓国語と中国語も学び、色んな体験をすることが出来てとても貴重な時間となりました。その後、トーマツ・コンサルティング(株)という監査法人の会社で半年間のインターンシップをし、日本の経営や国際財務基準、業務プロセス分析などについて色々学ぶことができました。

このような体験を基にして、ブレーメン州立経済工科大学に留学することを考えているみなさんに伝えたいと思っていることは、留学する可能性があるならば、必ずそういったチャンスを使って頑張って下さい！海外で生活をして国際的な体験をすること、沢山の面白い人と知り合って色んな友達を作ること、キャリアアップにおいて大切な自分のキャラクターを成長させる大きなチャンスだと思います。私の場合は特に、ブレーメンに来た日本の留学生達とよく遊んだり、バーベキューをしたり、旅行したり、一緒にタンデム(言語交換というお互いにドイツ語・日本語を楽しみながら教えてあげること)をしたりしました。お陰で、今でも仲の良い友達をつくることが出来ました！ぜひブレーメンに来て下さい！



Mach Hien-Phan

2008年9月～2009年2月、明治大学商学部に留学。

(諸上ゼミナール・森永ゼミナール所属)

その後、BOSCH(株)にて半年間インターンシップを行い、日本の文化に深い関心を寄せ、卒業後は日本の語学学校に入学。

ビジネス日本語の習得に励んでいる。

明治大学の留学は私にとってとても大事な体験でした。留学のお陰で私の考え方はポジティブに変わっています。現在、留学の時の思い出したら、留学は短かったですが非常に楽しかったです。そして、先生とゼミの友達もいつも良くしてくださってとても感動しました。日本の楽しいことも真剣なことも色々と勉強になりました。心から感謝しています。

Meike Bechmann

2009年9月～2010年2月、明治大学商学部に留学。



私は HSB から来た留学生です。2009年の9月から2010年の2月まで明治大学で留学生生活を 経験しました。それより以前にも、日本へ行ったことがありました。その時に色々な所へ旅行をし、日本人の親切な性格に触れたことは、今でも覚えています。また、日本語を聞いた時に、発音や日本語の「音」が好きになり、勉強をしたいと考えるようになりました。日本の文化はドイツの文化と比べて違うので、考え方についても学びたいと考えました。その後、HSB で日本語と経済学を勉強し、1年間日本で留学をすることになり、明治大学に来ました。

日本語の授業の他に、マーケティングとビジネス英語のゼミをとっていました。マーケティングは日本人と常に一緒にいられるので、いい経験だったと思います。授業の内容は日本語だったので、初めは本当に難しかったです。特にマーケティングと関係ある漢字は、読むことはできませんでした。それでもゼミの皆さんのおかげで、授業は楽しく受けることができました。最後には、沢山の友達ができ、色々な大切な体験をすることができました。

HSB と比べて、明治大学は全然違います。私にとって明治大学は大き過ぎました。人が沢山いるところでは、本当の友達を作ることは難しいと思います。大きな大学では、個人が薄れる感じがしました。HSBの方が、好意的な雰囲気がある気がしました。それでも明治大学という大きな大学で勉強をすることは、いい経験だったと思います。多くの人の考え方に触れ、日本の文化についても勉強することができました。2010年8月にドイツへ帰るので、少し悲しいですが、家族やドイツの友達と再び会えるので、楽しみでもあります。ぜひみなさんも、ブレーメンに留学に来て下さい！会えるのを楽しみにしています！



Juliane Bädelt

2010年9月～2011年2月、明治大学商学部に留学。
(森永ゼミナール所属)

その後、半年間インターンシップを行う予定。

高校時代にすでに留学経験があり、Bremenでもお寿司屋で働くなど、日本関連のことに携わっている。

未来の留学生たちへ

はじめまして、Julianeです。私は2004年に神奈川県大和市にある高校に留学をして、2010年10月から明治大学での第二の日本での留学を楽しみにしています。

私がブレーメンへ来たのは、ちょうど二年前の夏でした。私はベルリン出身ですが、私の故郷と同じようにブレーメンの事を好きになりました。私のブレーメンのおすすめはこちらです：

- ① オリエンテーションに参加して下さい！毎年9月の最後の一週間にAWSの先輩方は、新しい入学生のために、色々な活動を行っています。例えばサイトシーイングツアー、Chaosrally、大学のインフォメーションコースなど色々な活動をします。特にChaosrallyは面白いです。この日こそ、新しい友達とタンデムパートナーを見つけるチャンスです！

- ② 夏になるとWeser川側にある「Schlachte」のプロムナードで、友達とゆっくりビールを飲んでみてください。特に夏は涼しい風が吹いて、夕日を見てるとリラックスできます～。
(バナナ) ヴァイシェンビールか「BerlinerWeisse」をぜひ飲んでみてください！

- ③ Bremerhaven(ブレーマーハーフェン)にあるKlimahaus(体験型気候博物館)へ行ってください！この博物館では、Bremerhavenからシチリア島、イタリア、カナダ、ナイジェリア、南極地方など8東経度沿いの疑似旅行で、環境問題をやさしく説明しています。特に私の場合は「星空」を好きになってしまいました。あなたは何を好きになるでしょうか？



Lesley-Anne Jacob

2010年9月～2011年2月、明治大学商学部に留学。

その後、半年間インターンシップを行う予定。

日本に何度か行った経験もあり、日本に関心を寄せている。

私たちの大学、HSBで勉強するのは、とても楽しいです。

ここでは、いろいろなことが勉強できるし、相談相手も見つけることができます。

留学生は、語学だけを勉強することも、一般講義を聞くこともできます。学期の始めにもらう学生切符（ゼメスターチケット）で、ブレーメンの中は、どこへでもタダで電車やバスに乗ることが出来るし、ブレーメン市外にも、この切符で行けます。例えば、ハンブルクやクックスハーフェンなどです。大学までは、町の中央から歩いて5分ぐらいしかかかりません。大学では、いろいろなスポーツをすることもできます。大学の授業は、それぞれ少人数なので、勉強しやすいです。私たちの大学は、全体的に高校の延長のようですが、高校に比べると学生生活は、はるかに自由です。HSBに留学している学生たちは、この大学生生活はとても楽しいと話しています。

Tatjana Erlewein

HSB・AWS学部の担当者。

日本からの留学生の事務手続きなど、あらゆる面でサポートしてくれている。



Mein Name ist Frau Tatjana Erlewein. Ich bin an der Hochschule Bremen Programmkoordinatorin für die Studiengänge AWS und MiH (Management im Handel). Ich bin im Rahmen dieser Tätigkeit Ansprechpartnerin für die Austauschstudierenden von unseren Partneruniversitäten aus Japan. Ich spreche leider kein Japanisch, aber Deutsch, Englisch, Französisch und Chinesisch. Meine Emailadresse: tatjana.erlewein@hs-bremen.de

池原千春・岩坂道子

HSB の AWS-Japanisch の日本語教師の方々。

日本からの留学生の相談に乗ってくれたり、わからないことを親身に教えてくれたりする。

ドイツで実際に暮らしている日本人の先輩として、様々なアドバイスをくれる、頼もしい先生方。



明治大学からブレーメン州立経済工科大学へ留学希望の皆さんへ

ブレーメン州立経済工科大学「応用経済語・国際経営学科」は1988年3月に開講して以来、東西ドイツ統合を含めた国内情勢の急速な変化・EUの拡大・世界のグローバル化とともに成長してきました。この間、「遙かなエキゾチックな国」から、「マンガ・アニメ・ポップカルチャー」を通じ子ども時から親しんで来た「身近な文化」へと日本を観るドイツ人の目も変わってきました。

そこで、日本から本大学に留学を希望なさる皆さんには、この一年間の貴重なドイツ滞在中、語学・学生間交流のみならず、ドイツの歴史・政治・価値観・社会生活の変化、EUに於けるドイツなどについても、できる限り多くのことを体験していただきたいと願っております。同時に、ドイツへの留学が、皆さんにとって一步距離を置いたところから私たちの「日本」を見直す好機になることを期待しております。

日本語担当 池原千春・岩坂道子



Tim Goydke

HSB・AWS 学部の教授。

日本の経済を専門分野にしており、明治大学においても数回特別講師として講演している。

日本の経済や社会、文化を学ぶ授業を担当しており、気軽に日本人留学生も参加することができる。

(科目名：Wirtschaft und Gesellschaft Japan)

商学部先輩からの Message

そしてここから、すでに留学を終え、各々の道を進んでいる先輩方からのメッセージです。

山崎織江

2004年明治大学商学部入学。明治大学からの派遣留学生第1期生として、2007年4月～2008年3月HSBへ留学。帰国後、2008年9月に大学卒業。在学時代、塩澤ゼミナールに所属。
2009年4月よりJETRO（日本貿易振興機構）の海外調査部に勤務。



「なぜブレーメンに？」 社会人となった今でもよく尋ねられます。

「ブレーメンと言えば音楽隊だから、音楽の勉強をしたんでしょう？」なんて言われることもありますが、「いやいやいや！経済の勉強をしていたんですよ！」と説明且つ反論をするのが留学を終えてからの醍醐味の1つです。では、なぜ「ブレーメン」なのでしょう？

私の場合は「ロジスティクス（物流）」に興味があったから。ブレーメンはドイツの海運業の発展に貢献した歴史を持っていることから、物流関連企業が多く、ブレーメンに本社を構える会社もあります。

物流以外にも、今や世界的に有名な Becks ビールはブレーメン生まれです（インターナショナルマーケティング・食品）。おなじみの音楽隊や歴史的価値のある市庁舎があります（歴史・観光）。表現主義を代表する Paula Modersohn-Becker という女性画家はブレーメンで絵の勉強をしていました（美術）。最近、ブレーメン州は海外からの企業受け入れに積極的です（外国投資・誘致）。さらには、ハイテク産業の育成にも力を入れていて、エアバスの組み立てにもブレーメンが携わっているんです（研究開発）。

どうですか？興味のある分野がブレーメンで学べることがお分かりいただけましたでしょうか？

もちろん留学中は大変なこともあります。帰り道に市庁舎前を通り、ブレーメンの音楽隊を撫で（＝さわると幸せになれる！）、Becks を飲んで、Werder Bremen（サッカー）を応援したら、また次の日から頑張れます。留学が終わる頃には、自分の成長ぶりと素晴らしい仲間を得ることができた感動を肴に乾杯することができるはずです。

長嶺佑美

2006年明治大学商学部入学。明治大学からの派遣留学生第2期生として、2008年3月～2008年9月HSBへ留学。帰国後、2010年3月に大学卒業。在学時代、小林ゼミナール・渡辺ゼミナールに所属。



これから留学を希望するみなさんへ

私は半年間、ブレーメンへ留学をしました。

短い留学期間であったため、大学の授業にうまくついていけず、毎日反省してはとにかくドイツ語を勉強する日々でした。半年の間で、何ができるの？と留学前に両親や周りの人には反対されていましたが、私はとにかくドイツへ行きたいという一心でした。ドイツ語が好きということや、ドイツの歴史に興味があったこと、そしてもっと広い世界を見てみたいという気持ちでいっぱい、行きたいと思った今がチャンスだと信じていました。

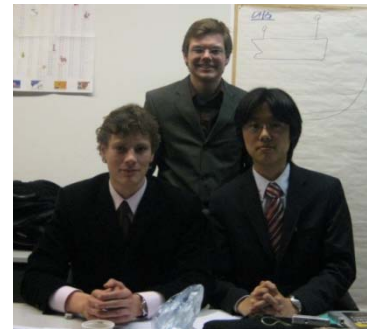
大学というものは自分から行動しなければ情報もチャンスも何も得られません。行動して、多くの人と出会って、刺激を得ることで成長できます。私はドイツへ留学し、初めて海外の友人が出来ましたし、日本を離れることで日本を外から見る事が出来ました。海外で生活していくことも何から何まで日本と違う、でもその違いを発見していくことが楽しくなりました。日本には気が付かなかったことがたくさんありました。

留学を実現できたのは、両親・大学の先生・きょうだいや友人のおかげです。周りの人々の協力に本当に感謝しています。

ぜひ、みなさんもその「留学をしたい」という気持ちを全力で周りへぶつけてみてください!! 決してあきらめることはしないでください。今日という日は戻ってはこないのですから!!

山田貴大

2005年明治大学商学部入学。明治大学からの派遣 留学生第3期生として、2008年9月～2009年2月 HSBへ留学。帰国後、2009年3月に大学卒業。在学時代、千葉ゼミナールに所属。



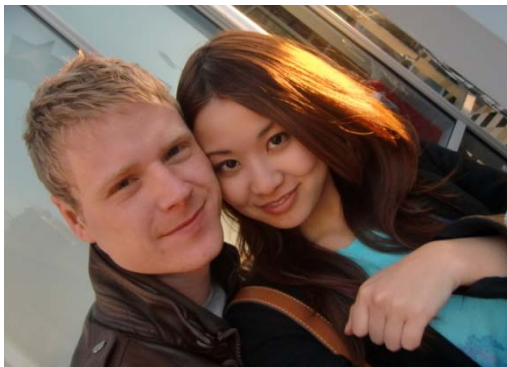
「何事も経験」をモットーに

「何事も経験」これが私の合言葉であり、このドイツ留学の原点です。私が留学を決めた理由は、日本とは全く違う魅力的な世界・環境に身を置きたいと思ったからであり、その決断は間違っていなかったと社会人2年目になった今でも思います。

留学当初は、言語の違いや複雑な諸手続き、初めての一人暮らしなど様々なことで苦労しました。しかし一つ一つ問題を乗り越えていくことで、自分が少しずつ逞しくなっていくことが実感できました。

留学中はとにかく今しかできないことを積極的にしようと心がけました。論文作成の為にブレーメン商工会議所へのインタビューや、クラスメイトと三日三晩徹夜して作成したプレゼンテーション、夜行バス等での欧州6カ国1人旅など全て良い思い出です。

この留学を通して私が一番得たものは自立心だと思います。異なった環境下で全て自分で考えて行動し、問題に対処していく。この成長は日本ではできないことだと思いました。留学では単なる語学力向上だけでなく、多くのことを得るチャンスです。この留学に興味を持った方はぜひチャレンジしてみてください。全て前向きに、そして「何事も経験」と割り切って行動していけば、得るものは必ずあると思います。



岩田有未

2006年明治大学商学部入学。明治大学からの派遣留学生第4期生として、2009年3月～2010年2月 HSBへ留学。帰国後、2010年9月に大学卒業。在学時代、千田ゼミナール・渡辺ゼミナールに所属。

ブレーメンでの一年は、私に様々な出会いをもたらしてくれました。価値観や考え方、生活の違いなど様々な国の友達との交流を通して、広い視野や強い精神を身につけることができました。新しい環境での生活はとても刺激的で楽しいことばかりです。この1年がこれからの私の将来に生きていくことは間違いないと思います。ドイツの落ち着いた風土はとても生活しやすく、特に夏の長い夜はとても気持ちがいいです。ドイツに限らなくても留学は学生生活の中で大変有意義だと思います。是非ドイツでの一年を過ごしてはいかがでしょうか？

最後に

大場貴之

2007年明治大学商学部入学。明治大学からの派遣留学生第5期生として、2009年9月～2010年8月HSBへ留学。2011年3月卒業予定。

在学時、松本ゼミナール・森永ゼミナールに所属。



私は正直、留学生の中では1番と言っていいほど、劣等生でした。ドイツに到着した当初は、ドイツ語も英語もほとんど聞き取ることもしゃべることもできず、挫折したことを今でも鮮明に覚えています。しかし、そんな私でも1年間の留学を無事終え、色々な意味でひと回りもふた回りも大きく成長し、現在このような文章を書いています。

留学を終え、今心から思うのは、単純に「ブレーメンに留学して良かった」ということだけです。なぜなら「留学」は、私に多くの試練と挫折を課し、成長させてくれたことはもちろん、生涯の友と言える友人と沢山出会えたこと、そして様々なことに対して踏み出す勇気を与えてくれたからです。

長期間日本を離れ、海外で過ごすことや、就職活動への影響、経済的事情など、様々な不安や問題を抱えている人がいると思います。それらは時には予想以上に困難であり、乗り越えるには体力と精神力が必要になるかもしれません。私自身、留学を決定するまでに1年以上の時間を必要としました。しかしこれらの問題は、特別なことではなく、誰もが直面することだと思います。問題にぶつかる前から逃げるのではなく、まずはぶつかって、悩んで、そして悩みきってはどうか？もしかしたらあなた自身の答えを出すのに1年、もしくはそれ以上時間がかかるかもしれません。ですが、それだけ悩んだ答えなら、どんな答えでも自分自身納得出来るのではないのでしょうか？

そして、「ブレーメンに留学する」という答えが出たのなら、私たち留学経験者はもちろん、Kowallik先生や渡辺先生をはじめとするドイツ語の先生方、商学部事務室、そしてHSBの学生たちは、喜んで手を差し伸べます！あなたは決して一人ではないということを覚えていてください。みなさんといつか、ブレーメンやドイツの話で盛り上がることを期待しています。



勇幸太

2008年明治大学商学部入学。明治大学からの派遣留学生第6期生として、2010年2月～2011年2月HSBへ留学。2012年9月卒業予定。在学時、大森ゼミナール・Kowallikゼミナールに所属。



留学生活は一見して、華やかそうに見えますが、それは全て自分次第です。友人関係にしても、勉強にしても、全て自分から積極的に行動を起こさなければ何も始まりません。

学校で様々な国の学生と友人になり、放課後に一緒にバーへ行ったり、サッカーをスタジアムで観戦したり、ここでは書ききれないほど楽しいことが満載です。しかし、そういった生活は人それぞれであり、自分でいくらでも楽しいものにすることができます。留学生活をどう創るかは自分次第です。恐れている、躊躇っている、何も始まりません。是非とも、楽しい留学生活を創り上げてください。



小賀野翼

2006年明治大学商学部入学。明治大学からの派遣留学生第6期生として、2010年2月～2010年2月HSBへ留学。2011年3月卒業予定。在学時、風間ゼミナール・北田ゼミナールに所属。

突如現れる遊園地、サマータイムマジック、自転車天国、ママは大学生、真夜中のケバブ、叫ぶマンホール、縦長の公園、ja!水、ぴん札のユーロのにおい、湿気のない夏、サッカー命、ボロボロのエコバック、何かとアイス、美男美女、静かな日曜日、学食のタッチ&ゴー、真っ黒なパン、ゴールデン定期、黒光りしないベント、固い握手...見るもの聞くもの感じるもの全てが新鮮で、毎日が楽しい！！というのは、本当でもあるし嘘でもあります。

ドイツの文化で育ったバックグラウンドの違う人とコミュニケーションを図ること、ドイツ語や英語で講義を受けたりプレゼンテーションをしたりすることは、とても刺激的で意義があるのと同時に多くのエネルギーを必要とします。それでもその労力を費やすだけの価値があるので、私は留学をお勧めします。

“みんなと同じように大学に行き、みんなと同じように就職をする”それが当たり前で、もしも違う生き方をしたら周りの人に遅れをとってしまう...私は留学以前ずっとそんな考えを持っていました。しかしドイツに来て様々な経験をする中で、その思い込みこそ後進的であるということに気付かされました。

新しい発見、一生の友達、将来の自分を探す一歩を是非踏み出してください◎



ブレーメン経済工科大学 留学の手引き

発行：2010年10月

発行元：明治大学商学部事務室